

パンディーノ、パラッツォ・ピニャーノ

また、昨日と同じバスに乗りました。日曜日はバス乗り場が違うことを知り、多少、あわてましたが何とか乗る事が出来てほっとして出発しました。日曜日以外は、サンドナート駅構内のバス乗り場ですが、日曜日だけ、いつもの Lenea B のバス乗り場（マリニャーノ）に変わるのです。先週、乗り逃したのは、本を読んでいたからではなく、バスの来ないサンドナート駅構内で待っていたからだったのです。今日の行き先はパンディーノです。クレマの2つ手前の人口 8900 人、アッダ川を渡りロンバルディ州ミラノ県からクレモナ県に入って直ぐのところにある小さな街です。但し、この街はほとんど拡張されていて、今では旧市街の数倍の大きさになっています。「最も美しい村」に選ばれているグラデッラもパンディーノに属し、パンディーノの北 1.5 キロにあります。但し、今回は、グラデッラには行かずにパンディーノとその南にあるパラッツォ・ピニャーノという名の村を訪ねました。

パンディーノは、8,9 世紀にロンゴバルド王国の要塞（フン族侵略の防衛）があり、その時分から城もあったようです。12 世紀からミラノの統治下となり、ヴィスコンティ・スフォルツァ家の支配となります。パンディーノにあるヴィスコンティ城は、14 世紀中旬にヴィスコンティ家が狩猟の拠点として建てたもので、その後、スフォルツァ家からフィリッポ・マリア、ルドヴィコ・イル・モーロ、サンセヴェリーノ家、アッダ家と引き継がれ、パンディーノの公爵として 1947 年まで居城として使われていました。従って、今でも、ほぼ完全な形で残っています。お城は 4 つの城塔（今は 2 つだけ残っている）をつなげた四角の形状で真ん中には広い中庭があり、その周りにはポルティコのアーケードで囲まれています。アーケードのフレスコ画は今でも見る事が出来ます。パンディーノのコミュニエ等がこのお城の中にあり、現在でも公共の建物として使われているようです。



パンディーノの旧市街は、もともと、城壁に囲まれていたようですが、今では、城壁のほんの一部だけが旧市街の南東部に残っています。従って、旧市街と新市街の境ははっきりとしていないのですが、街を歩いていると今どちらを歩いているのかは直ぐにわかります。旧市街には、ところどころに古い建物と15世紀に建てられて教会がありますが、ヴィスコンティ城以外は、それほど目立つ観光名所はないようです。パンディーノの街にあるコムーネの地図にも6箇所の観光名所があるだけでした。



パンディーノから、北にあるグラデッラ及び南にあるパレッツォ・ピニャーノへは、どちらも1.5キロ程で、歩いて行く事が出来ます。グラデッラは「最も美しい村」に選ばれているのですが、18,9世紀の如何にもヨーロッパらしい黄色に塗装された可愛い家が並んでいる村とのことなので、あまり興味が湧きません。従って、古い街並みと教会のあるパレッツォ・ピニャーノに行く事にしました。パンディーノの旧市街を出て、新市街を抜けると、歩道のない道がパレッツォ・ピニャーノまで続いていて、その道を10分弱歩きます。車もそれほど多くなく、両側にロンバルディ平野の田んぼが広がっている1本道を気持ちよく歩くことが出来ました。晴れていたらもっと良かったのですが。



パレッツォ・ピニャーノは、パンディーノよりも更に小さい人口4300人の村です。パレッツォ・ピニャーノに入ると家畜の臭いがします。いかにも田舎の村の臭いです。パンディーノから続く道を真直ぐに進むと、その道がパレッツォ・ピニャーノの中心部を通り（ローマ通り）、200メートルほどで村を通り抜けてしまいます。但し、その200メートルが素晴らしいのです。村の名前の通り宮殿があるのですが、その宮殿の正面がこの道路沿いにあります。この宮殿は、多分、個人の持ち物なのでしょう。宮殿の裏まで行きましたが中に入ることも中をのぞくこともできません。唯、マラッツィ（Marazzi）宮殿の外面保護工事との看板がありましたので、工事が終われば公開されるかもしれません。内部も見たいのですが、道路に面しているところだけでも素晴らしい建物であることは十分に

わかります。説明書きもないのでわかりませんが、多分、15世紀頃の建造物なので、トリノやジェノヴァの宮殿のような豪華さはありませんが、奥深い芸術を感じさせてくれる古い宮殿です。



ローマ通りを真直ぐに 200 メートルほど歩き、村を抜けたところには、5世紀に建てられた教会があります。正面のファサードと身廊はロマネスク建築に建て直されていますが、ミラノのサンタンブロージョ教会のように、古い教会はやはり落ち着きと深みを感じます。教会の屋根は木造で、内部には擦れているフレスコ画があり、更に古い教会独特の雰囲気醸成を醸しだしています。内壁と外壁の壁を挟んだ両側には4世紀に建てられた礼拝堂の遺跡まで保存されています。古い教会は、裏から見たほうが風格を感じますが、この教会も同様に裏から見た方がやはりすばらしい。この教会の名前ははっきりとしません。パレッツォ・ピニャーノの教区教会と呼ばれているようですが、ある説明書にはサン・マルティーノ教会とも書いてありました。でも、古い教会には名前なんか要らないのでしょうか。





教会の裏には、ローマ時代のヴィラの遺跡もあります。遺跡はまだ発掘途上であり、完全には発掘されていません。今はヴィラの床のモザイク模様と建物の土台だけを見ることが出来ます。このヴィラの持ち主のローマ人はキリスト教徒だったのでしょうか。教会にある礼拝堂の遺跡は、もともこのヴィラの礼拝堂だったとのこと。その礼拝堂の跡に教会が建てられたのです。教会やローマ遺跡の周りは、ロンバルディ平野の田んぼが広がっていてとても気持ちの良いところです。ここも天気良かったらもっとすばらしいと思います。



バスは、サンドナート M3 駅からクレマ経由でオルツィヌオーヴィ又はヴェローラヌオーヴァまで行くアッダ・トランスポートの Linea 34 です。パンディーノまでは 30~40 分で、料金は片道 2.9 ユーロ (E 区域) でした。もちろん、日曜日なので往復を買っておきました。但し、帰りは、パンディーノの先にあるパレッツォ・ピニャーノから乗りました。もちろん、どちらもサンドナート駅から E 区域ですから同じ料金です。日曜日でもクレマまでなら 2 時間に 1 本のバスがありますから、パンディーノ周辺なら日曜日でも問題ありません。昨日行ったソンチーノのようにクレマの先まで行く場合は、日曜日の帰りのバスは、しっかりと確認した方が良いでしょう。このあたりは、クレマ以外は皆小さな街ですからタクシーも見かけませんでした。

このバスには、もう一度乗るつもりです。今度の行き先はクレマです。ここも旧市街は城壁に囲まれていて、旧市街が昔のまま残っているようです。ここにはツアーリスト・インフォメーションも観光ガイドもあると思いますので、街の歴史をちゃんと知ることが出来ると思います。